

『PCA hyper 会計シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.16プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SZR_2507

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇新リース会計基準に対応

- 勘定科目属性に「（有形固定資産）使用権資産」「（有形固定資産）使用権資産減価償却累計額」「（有形固定資産）使用権資産減損損失累計額」「（無形固定資産）使用権資産」「（無形固定資産）使用権資産償却累計額」「（無形固定資産）使用権資産減損損失累計額」「（投資その他の資産）使用権資産」「（その他流動負債）リース負債」「（その他流動負債）一年内返済リース負債」「（固定負債）リース負債」「（営業外費用）リース負債に係る利息費用」を追加しました。
- 「決算書」の「個別注記表」初期値を「リースにより使用する固定資産に関する注記」から「リースに関する注記」に変更しました。
- 「キャッシュ・フロー計算項目」の「財務活動」タブに「リース負債の返済による支出」を追加しました。
- 「FR形式XBRL出力」で新たに追加した勘定科目属性に対応しました。

◇グローバル・ミニマム課税制度に対応

- 勘定科目属性に「（固定負債）長期未払法人税等」「（法人税等）国際最低課税額に対する法人税等」を追加しました。
- 「決算書」の「個別注記表」初期値に「国際最低課税額に対する法人税等に関する注記」を追加しました。
- 「FR形式XBRL出力」で新たに追加した勘定科目属性に対応しました。

◇『PCA Hub 経費精算』に関する機能強化

- 「経費精算へのマスター転送」において、「税区分」の転送時に経過措置用の税区分を含めて転送できるようになりました。
- 「経費精算仕訳の受入」において、仕訳データ受入時に経過措置用の税区分に基づく税額を再計算できるようになりました。

◇第六世代税理士用電子証明書に対応

- 「電子申告」の電子署名において、第六世代税理士用電子証明書に対応しました。

◇PCA IDに対応（PCAクラウド・PCAサブスクのみ）

- 「システムツール」の「連携アカウントでログオンの有効化」にて、「PCA ID」の有効化が行えます。
- 「システムユーザーの登録」の「一括新規」で「PCAアカウントから選択する」を利用し、システムユーザーを追加または新規作成することが可能です。

◇FinTechサービスの起動制限緩和（PCAクラウドのみ）

- 「システムツール」の「製品サービスライセンスの追加」が不要となり、「デジタルデータ処理」－「FinTechサービス」が表示されるようになりました。

◇PCAクラウド など複数企業の管理をされているお客様向け機能強化

「システムツール」に「リカバリ時の表示メッセージの管理」を追加し、ユーザーID情報が一致した場合に動作選択メッセージを表示できるようにしました。

◇前年度領域が不正な場合のメッセージの表現緩和

- 「データコンバート」において、前年度領域が設定されている場合はクリアし、「会社基本情報の登録」で前年度領域の再設定が必要な領域がある旨をメッセージで表示します。
- 「データ領域のリカバリ」および「データ領域の一括リカバリ」において、前年度領域がクリアされる場合は「会社基本情報の登録」で前年度領域の再設定が必要な領域がある旨をメッセージで表示しました。

◇『PCAサブスク 会計 hyper データ連携オプション』（※2025年7月発売予定）に対応

- 『PCAサブスク 会計 hyper データ連携オプション』に対応しました。

◇機能強化（全般）

- 電子帳簿保存法の改正に合わせ、「会社基本情報」の「電子帳簿保存」タブの内容を「優良な電子帳簿」「その他（一般の電子帳簿）」に変更しました。
- 「取引明細の受入」で「入金」「出金」の選択を追加しました。
- 「クイック受入の初期設定」「クイック仕訳作成ルールの登録」「取引明細仕訳作成ルールの登録」にて、摘要の設定項目に「空白で区切る」のチェックボックスを追加しました。
- 「振替伝票入力」「決算整理仕訳入力」にて、摘要入力欄を半角34文字（全角17文字）で折り返しにする機能を追加しました。
- 「FR形式XBRL出力」にて、国税タクソノミ（Spec2.1 Ver1.0）の出力を廃止しました。
- 「汎用データの受入」で「取引先マスター」の顧客コードを空で受け入れる場合、0詰めではなく空のまま受け入れるように変更しました。
- 「システムユーザーメール設定」「システムユーザー連携アカウント設定」で、メールアドレス登録時にRFC違反しているアドレスを登録できないよう変更しました。
- 「電子申告」で自動ダイレクトを利用する際、チェック漏れを防ぐため「私(当社)は、申告した納税額について、自動ダイレクトを利用し、選択した口座からの引落としにより納付します」を赤字に変更しました。